

第四期武蔵野市コミュニティ評価委員会 第2回議事録

日 時 令和元年5月27日（月曜日）午後7時～
場 所 武蔵野市役所 413 会議室
出席者 玉野委員長、佐藤委員、深田副委員長、青木委員、寺島委員、小島委員（名簿
順、敬称略）
事務局（市民活動推進課）
欠席者 なし
傍聴者 4名

<次第>

- 1 開会あいさつ

- 2 議事
 - (1) 調査実施概要について
 - ① 無作為抽出市民調査項目（案）
 - ② 事前調書項目（案）
 - (2) コミュニティ協議会との意見交換会に向けて
- 3 閉会

<配布資料>

- 資料1 調査実施概要
資料2-1 無作為抽出市民調査項目（案）
資料2-2 事前調書項目（案）
資料3 コミュニティ協議会との意見交換会について
資料4 コミュニティセンターの利用状況

<議事録>

1 開会あいさつ

(1) 委員自己紹介

【委員長】 委員の交代がありましたので、事務局よりご紹介をお願いします。

【事務局】 鬼原委員がコミュニティ研究連絡会の副会長を5月で退任されました。そのため、委員の入れ替えがあり、本日より青木委員がご就任されました。

【委員長】 青木委員よりご挨拶いただけますか。

【委員】 吉祥寺東コミュニティ協議会の代表で3年目です。武蔵野市コミュニティ研究連絡会は同じく3年目で監事を務めています。評価委員会は平成23年以来ということで、私どもの協議会以外も含めて再度しっかりと見つめなおしていきたいと思っています。よろしくお願いたします。

2 議題

(1) 調査実施概要について

【事務局】 資料1をご覧ください。評価委員会の基本的な進め方・考え方をまとめたものです。評価の大切な視点として基本方針を三つ考えております。これから行う様々な調査によって各協議会が行っているコミュニティづくりを見える化したり、コミュニティセンターという拠点を持っていることが協議会の一つの強みだと思いますので、いろいろな団体との協働が期待できることなどを調査しまとめて、今後の委員会資料としたいと考えております。

右側には、どのような調査を行うのかを、委員会スケジュールとしてまとめました。

裏面に各種調査の概要をまとめましたのでご覧ください。全部で5つの調査を考えております。1点目は既存資料の収集・整理です。各協議会が1年間に行ってきた事業やコミュニティセンターの時間ごとの利用者数などの既に提出いただいている資料を一覧にまとめたいと考えております。2点目は無作為抽出市民調査です。コミュニティセンターを普段利用していない方も含めてコミュニティセンターの認知度を調査したいと考えており、本日ご議論いただきたいと思います。3点目の利用者向けアンケート調査については、第1回委員会でご議論いただき、すでに4～5月に各コミュニティセンターに調査用紙を設置して利用者にご回答いただきました。4点目の意見交換会・視察は今夏の実施を予定しております。協議会の方と委員会において直接お話しし、コミュニティづくりについてのお考えなどの意見交換をしていただければと考えております。5点目の関係団体インタビュー調査は事務局が行い、今後の委員会の参考にしていただきたいと思います。商店街や地域の目的別のコミュニティ団体などのお考え、協議会との協力の意向とその課題などを調査したいと考えております。

【委員長】 第1回のご記憶も薄れているのではないかと思います。評価の目的を確認していただいたかと思います。早速ですが、説明のあったコミセンを普段利用していない

一般市民を含め無作為抽出で行う調査の内容について議論を始めていきたいと思ひます。まずは事務局より説明をお願いします。

① 無作為抽出市民調査項目（案）

【事務局】 資料2-1のうちA4資料裏面に記載の20問の調査項目は、委員の皆様にも事前にご覧いただいております。無作為抽出の市民2,500人にご回答いただこうと考えております。資料2-1のうちA3資料には各設問の選択肢もお示ししております。

A3資料では、A4資料から1点訂正しております。A4資料では問11の回答対象を問9で地域コミュニティ活動に関心があると回答した方に限定しておりましたが、A3資料ではすべての回答者を対象とすることに変更いたしました。

当案の設問は、平成26年に「これからの地域コミュニティ検討委員会」を設置し市長にご提言いただくにあたり行った平成24年の基礎調査に基づいて作成いたしました。大多数の設問は、7年前との経年変化を比較分析できるように基礎調査と同じにしており、右から2列目の「過年度調査との関係」において○印で示しております。また、事務局として新たに加えた設問については「新設」と記載しております。

【委員長】 委員の皆様には、事前に資料をお渡しして見ていただいていると思ひますが、本日配布したA3の資料を見ていただき、追加・修正項目があればご意見を頂ければと思ひます。F7は、情報収集の方法について関係で新設項目を設けたいということかと思ひます。新設項目は問8と9ですが、参加している方について地域コミュニティ活動で抱えている課題を選んでいただくのと、参加していない方に地域コミュニティへの関心の有無を聞いているものかと思ひます。問11については事前の資料と少し違っていますが、すべての方にお聞きするものです。これは新設項目ですか。

【事務局】 項目としては前回もありましたが、一部修正をしています。

【委員】 全体的なこととして、「関心」と「関わり」と「参加」がごっちゃになってしまうと、回答が重複しているような感があります。「関心」「関わり」「参加」の言葉の定義をしっかりと定めておく必要があると思ひます。また、地域に対するイメージについても、「関心」の話であることが分かるように整理したほうがよいと思ひます。

【副委員長】 無作為で抽出してアンケート用紙を送付すると思ひますが、このA3のものを送るのでしょうか。アンケート調査の形式は別になるのでしょうか。

【事務局】 アンケートの形式は別になります。内容はA3の選択肢を含めたもので、これを書きやすい様式にして送付する予定です。

【副委員長】 回答者がよくわかるような形式にして、突然送られてきた調査票に戸惑わないよう、説明を入れていただきたい。

【委員長】 本日の検討を受けて、最終的に調査票の形に直すのかと思ひますが、それをこの委員会で確認できるのですか。

【事務局】 委員の皆様に見ていただき、了承をいただいた後、配布する予定です。

【委員長】 本日は項目と選択肢を確認していただき、確定したところで最終的に説明文も含めて確認していただくということかと思えます。

【委員】 設問項目が非常に多くて回答者に負担があるように思います。2,500件配布して、どの程度回答していただけるのか分かりませんが、少し多いと感じます。また、問8について、選択肢1と2はどのような意図か、説明していただけますか。

【事務局】 自分たちだけでやるのが難しいなど、財政的な面や人手不足などをイメージしています。

【委員長】 「新しい事業を起こすだけの余力がない」ですとか、「既存の事業を継続するのも大変だ」ですとか、選択肢は分かりやすい表現にしたほうがよいというご意見かと思えます。

【委員】 問18について、コミュニティセンターに求める設備という問いかけですが、ハードの中の「〇〇室が欲しい」「バリアフリーにしたい」「空調設備を更新したい」などの性能や仕様の話は分かりやすいのですが、たとえば「入りやすい」「過ごしやすい」など、建築物についてのデザインというところと大ざっぱすぎるかもしれませんが、ハードの中でもソフト的な面についての意見、もう少し広い面でのハードに対する要望が引き出せるような選択肢になるとよいと思えます。

【委員長】 設問名についても「コミュニティセンターはどのような場所になるとよいですか」など、わかりやすいものになるとよいということかと思えます。現在出ている選択肢は具体的にこういう場所がほしいという内容ですが、「コミュニティセンターに求めること」として、選択肢はここに書いてあるものだけでなく、「気軽に入りやすい場所であってほしい」など、デザイン、雰囲氣的な要素も引き出せるよう、もう少し工夫する余地があるというご意見かと思えます。完全なハードと分けたほうがよいのかどうかは検討する必要はあるかと思えます。

【委員】 問17と18は重複している印象がありますので整理が必要かと思えます。問17には「安心して過ごせる居場所がある」という選択肢、問18でも「大勢の人が集まることができる場所がある」と、「〇〇な場所がある」という選択肢が両方にあります。少し整理し直して、先ほどの意見を引き出せるようにしたほうがよいと思えます。

【委員長】 問17は選択肢が多く、すべて並べると大変なので、設問を3つくらいに分けたほうがよいのではないかと思います。「コミュニティセンターに求める場所は次のうちどれですか」「どのような機能があるとよいですか」などとして、マルチアンサーとはいえ、5つくらいの選択肢がよいのではないかと思います。

【委員】 2の問3について、地域に対する「愛着」という表現がありますが、「愛着」という言葉は非常に曖昧で、人によって捉えどころが様々だと思います。この設問の意図はどのようなものなのでしょう。

【事務局】 前回のアンケート調査をもとにしたものです。

【委員】 ご参考までに、市民意識調査の中では「誇り・愛着」という表現にしています。

聞いている内容はこのような形ですが、「誇り」という表現を加えています。

【委員長】 前回調査では、問2の「地域」のイメージが人によって全く異なることが新たに分かりました。「愛着」というのは、どれだけ地域に思い入れ、ポジティブな気持ちを持っているかということだと思いますが、たしかにだんだん「愛着」という言葉がピンとこなくなっている状況はあるかと思えます。ただ、前回もこのように聞いているので、変えるのは難しいのかなとも思えます。

【委員】 「愛着」となると、人によって捉え方が異なるのではないかと思ったのですが、「誇り・愛着」と併記すればよいかもしれません。「愛着」だけですと、言葉の響きとしてどうなのかなというのがあります。また、設問数が多いことについてはやむを得ないのではないのでしょうか。

【委員長】 市民意識調査で「誇り・愛着」ということになっているのであれば、市民意識調査に合わせるという考え方もあるかと思えます。前回の評価委員会での調査と市民意識調査のどちらかに合わせればよいのではないのでしょうか。

【副委員長】 前回と比較するのであれば、前回と同じでよいのではないかと思います。「誇り」が入ると、前回との比較は難しくなります。また、人によってとらえ方が違うというのは前提であり、むしろあってよいと思えます。個人の認識の仕方的判断していただければよいと思えます。

【委員】 「愛着」でよいのではないかと思います。「誇り」と「愛着」を比較した場合、「誇り」は少し負担があるように感じます。

【委員】 選択肢としてみれば、「愛着」という言葉のほうがしっくりくるように思います。「誇り」が入ると寺島委員のおっしゃったように、負担に感じます。議論の参考に市民意識調査で「誇り・愛着」と使用した理由をお聞きしたい。

【委員】 市民意識調査では、「武蔵野市に対する誇り・愛着」と、「地域に対する誇り・愛着」の2段階で質問しているためかと思えます。

【委員長】 これまで通りの「愛着」とするというだけでよいかと思います。また、問4の「関わり」についても、意味が捉えにくいのですが、前回調査でも「深くかかわりたい」～「関わりたくない」という表現になっていますので、このままにしておくしかないのでしょうか。

【副委員長】 「地域コミュニティ活動」という表現について、まったく関わっていない人に参加の有無を聞いても、正確に答えられないのではないかと思います。例えば、「地域コミュニティ活動」をコミセン活動だけにとらえられればよいのですが、そうでない場合わかりづらいのではないかと思います。

【委員長】 問6に関しては、調査票では各選択肢に示している活動に参加したことがあるか否かの聞き方になっています。どれかの選択肢を選んだ人が問7以降を回答することになります。ただし問7以降でも「地域コミュニティ活動」と呼ぶかどうかは再度検討していただいたほうがよいかもしれません。早めに調査票の形にいただき、委員の方に

共有いただければと思います。

【事務局】 問6の選択肢にあるような活動をすべて「地域コミュニティ活動」と認識しています。質問は「選択肢にあるようなコミュニティ活動に参加していますか」という聞き方になるかと思っています。問8は「地域コミュニティ活動を継続していく中で抱えている課題はありますか」という聞き方をすれば、選択肢と整合性が取れるかと考えています。選択肢の1と2は、もう少しやわらかい表現に修正したいと思います。

【委員長】 本日の出たご意見を反映、検討していただき、早めに調査票の形にして、最終版が出来たところで再度委員の皆さんにご確認いただくようにしたいと思います。

② 事前調書項目（案）

【事務局】 資料2-2の1枚目をご覧ください。意見交換会前に各コミュニティ協議会に配布し文書でご回答いただき、意見交換会当日には回答内容を資料としてお配りしたいと考えております。2枚目に調査項目（案）をお示ししております。五つの主要事業や各主要事業の内容、コミュニティセンターで実現したいことや、コミュニティセンターの在り方などについてお答えいただこうと考えております。

次に当日資料をご覧ください。こちらは、意見交換会当日に各コミュニティ協議会に質問し口頭でご回答いただこうと考えております。コミュニティ協議会の負担軽減のため、文書でご回答いただく事前調書とは別にいたしました。コミュニティづくりにおいて工夫していること、施設の管理・運営において工夫しているところや難しいと感じているところ、コミュニティセンターに必要と思う機能などについて質問してはどうかと考えております。意見交換会では、この共通質問に加えて、各コミュニティ協議会の特徴や、議題2にてご検討いただく個別の質問についてお話し合いいただきたいと思います。

まずは、事務局の事前調書項目（案）についてご議論をお願いいたします。

【委員長】 資料2-2は協議会に事前に文書で答えていただくもので、当日資料は意見交換会の当日に質問する項目の案です。このあと、協議会ごとに特徴を把握し、個別の質問を検討したいと思っておりますが、全協議会共通の質問項目としては当日資料の内容を想定しています。ここでは一般的な項目として、事前に文書でいただく項目と当日口頭でよいものなど、ご意見をいただければと思います。いかがでしょうか。

【委員】 5.の問2、3は、当日資料の（1）の内容とかなり重なっているが、どのようにとらえているのですか。

【事務局】 各協議会が上手に工夫されている点や地域の中で価値を生み出している点を抽出し、「良さ」として表現をしていきたいと考えています。資料1で「価値の可視化」という表現をしていますが、生み出している価値を「見える化」していきたいと考えています。大変である、苦勞されているというお話をたくさん聞くことがありますが、コミュニティセンターを訪問させていただき、お話を伺うと、様々なプログラムがあって、参加者の多いプログラムなどでは、きっとそこにはいろいろな価値が生まれているはずですので、

そういったところのお話を聞きたいと思っています。意見交換会は、一協議会につき 20 分程度を想定しており、時間が限られていますので、事前調書については、事前にある程度時間をかけて回答いただいたほうがよい回答が得られるのではないかと考え、項目を盛り込んでいます。コミュニティ協議会からご提出いただいた回答を委員の皆様にも目を通していただき、意見交換会の当日は、大事な点について深掘りしたいと思い、当日資料の内容をまとめています。それは深掘りするときだけでなく、わざわざ全部聞かなくてもよいのではというご意見もあるかと思いますが、その辺りはご議論の中で決めていただければと思います。

【委員】 これは掘り下げなければいけないですし、次への展開を求めなければならないものだと思います。5 の問 2、問 3 は非常に重要なところですが、ここで止まっている協議会があれば残念だし、進んでいるところはどのような実績が積み重なっているかを評価したいところです。さらに発展させるためにどう取り組んでいくかを考える上で、貴重な設問であるので、これをベースに検討していきたいと思っています。それをどう進化させていくかを議論していきたい。コミュニティ協議会だけでないうるのではないと思いますので、関わりのあるところが一つになって取り組んでいくべきと思っています。東コミセンでは、福祉分野について社会福祉協議会や地域包括支援センターと話し合いをしているのですが、こういう場があると、協議会も関わっていき、協議会と地域の他の団体との連携の実績づくりになりますし、連携する上で何が必要になるのか試行しながら分かってくると思います。医療・介護については、部屋の提供だけではなく、協議会は深くかかわっていく必要がある分野だと思います。まとめて考える場がこれからは大切だと思います。丁寧な聞き方はよいと思いますし、意見交換会では深めてほしいと思います。

【委員長】 調書では、やっている事業を一旦網羅的に回答してもらったうえで、当日はうまくいっているもの、課題にしているところなど、深掘りができるようになるとよいと思います。また調書の 3. については、表形式にして回答しやすいようにはならないでしょうか。事業ごとにマス目を埋めていくような形の記入用紙をつくれるとよいのではないかと思います。また、事業と関連させて、その事業を行っている部屋について回答してもらうなど、施設との関連性も見えるとよいと思います。

【副委員長】 毎年出している事業計画があると思いますが、いつ何をやるのかだけを記載しています。それをうまくまとめれば表がうまく埋められるのではないかと思います。事業別にして、日にち、参加人数を入れれば、比較的まとめやすいのではないのでしょうか。また、協議会の方からしたら非常に面倒ではありますが、調査項目はできるだけ協力して書いていただければと思います。当日のヒアリング調査の時間がかなり短いので、十分に事前調書等で準備しておかないとうまくいかないと思います。ヒアリング時はこれだけ聞きたいという内容のみを聞くにとどまるかもしれません。

【委員】 5. の問 1 について、これを 3. に組み込むことはできないかと思いますが、表の中に特に紹介したいというものに○をつけ、それ以外にある場合は「その他」としてい

ただくなど、工夫していただければと思います。書く部分が多いと大変なので、できるだけ省力化していただきたいです。

【委員長】 5. 今後のコミセンの在り方については、問1は当日口頭で聞くことにして、抜いてしまってもよいかもしれません。実現したいことも書いていただいてよいですが、それも含めて口頭で言っていただいて、施設の対応や状況を並べるような調書にして、その上でやっていることを口頭で説明していただく形にしてもよいと思います。

【委員】 資料4でまとめられている内容が、事前調書で聞く内容と重なっているように思うのですが、事前調書で改めて聞く必要はありますか。

【事務局】 意見交換を行うにあたって、協議会のイメージを委員の皆さんにつけていただければと思い、概要を資料4につけました。

【委員長】 資料4は行政が把握している限りのデータで作成しているもので、われわれが各協議会の特徴を把握し、各協議会に個別にどのような内容を聞きたいかの検討に使用するものです。調書の内容も行政が報告書から引っ張ってきてつくれることはないのでは、ある程度作ってあるほうが楽だという考え方もありますが、むしろ各協議会が自分たちの活動動向を整理して確認しながら書く形で重複しているのだと思います。施設の利用状況がある程度分かっているならば、それを前提に書いてもらうのもよいですし、少し整理したほうがよいかもしれません。あくまで事前調書は協議会側が自分たちの基本的な活動を改めて確認するという作業になると同時に、われわれがベースとなる活動状況を改めて確認する資料となります。当日は各協議会で工夫している意見を話していただいて、それらを照らし合わせ評価していきます。この後の作業は資料4を活用しながら、調書をつくっていただいて、自分たちをアピールしていただき、協議会の特徴を割り出す作業を予定しています。調書で基本になる資料を整え、各協議会でアピールしたいことを話していただき、こちらは協議会の特徴について聞きたいことを整理しておきます。当日は20分しかないので、効率的に進めたいと考えています。

(2) コミュニティ協議会との意見交換会に向けて

【事務局】 資料3をご覧ください。意見交換会の流れをまとめております。16協議会を東部(6)・中央(5)・西部(5)の3地区に分け3日間で行いたいと考えております。東部については、午前・午後や午後・夕方など二つに分けて行うことを検討しております。1協議会あたり20分(交代時間含め25分)で行い、あくまで目安ですが、評価委員会からのヒアリング15分・協議会からの意見を5分としております。

20分という短時間でを行うため、事前に質問・意見をご提出いただく必要があると考えており、この後、各協議会の特徴などをご覧いただき、個別の質問などについてご検討いただきたいと思います。

資料4をご覧ください。本日も議論いただく6協議会について、各コミュニティセンターの施設概要、施設の利用状況、主な実施事業、自己評価をまとめております。主な実施

事業については、各協議会から毎年ご提出いただいている事業報告書から、注力している
と記載のある事業や毎月実施している事業などを事務局にて抽出いたしました。残り 10 協
議会につきましては、次回委員会にてご議論いただきますので、その際に同様の資料をご
用意したいと思います。

意見交換会の実施は 8 月頃を考えております。

【委員長】 これから 1 時間弱と、次回の委員会で、各協議会に対して意見交換会で個別
に聞きたいことについて議論を行いたいと思います。資料 4 は本日議論する 6 つの協議会
について把握できるデータから概況を整理した資料です。

① 吉祥寺東コミュニティ協議会

【事務局】 吉東コミセンは、本宿コミセンと近く、建物は 1 階平家建てになっています。
部屋数は 4 つで、ロビー、ホール、和室、児童室があります。

2 の施設利用状況について、特徴としては、過去 3 年間の利用者数は若干であるが増加
傾向にあるというところがあります。また、こんなところを聞いてみたいという話があれば
ご指摘いただければと思います。

【委員長】 委員の皆様から他にございますか。

【委員】 建物に特徴があるということで、歴史も含めて、どのように建物をうまく使っ
ているのかを聞いてみたいです。

【委員】 名称が「九浦の家（きゅうほのいえ）」となっていて、その辺の論点は落とせな
いところです。

【委員】 部屋が大規模なのか、小規模なのかが分かりません。各コミセンで協議会がど
のように活動されているかをお聞きしたいです。

【委員長】 本宿と比べると施設としては小さいです。一方で、駅に近いということもあ
り、吉東コミセンは利用が増えています。地域の中で昔から親しまれているというのが良
さなのかと思います。それをどのように事業に活かしていくかが重要になってくる気がし
ます。施設的には狭いです。

【委員】 大学の研究でほとんどすべてのコミセンに伺いましたが、施設も独特な使われ
方をしています。受付の前がロビーになっていて、中学生・高校生がいて、常に声を掛け
られるような環境にあります。また、そこから大学生で協議会に入る人もいます。小さい
ということもあるのかもしれませんが、そういうエントランスホールの場の作り方からも
そういう状況が生まれているのかと思います。他の協議会でも活かせることを見つけない
かと思っています。

【委員】 吉東協議会の広報誌が素晴らしいと思っています。その広報誌をどのような人
がどのように作っているのかを聞きたいです。

【委員】 自己点検評価は、30 年度はすべて A になっています。①～③あたりで特色が
あるところは聞いてみたいです。

【委員長】 中高生などの活動をどのように作ってきたかという話も聞いてみたいです。この地域ではありませんが、一時期青少年の非行が増えたことから、子どもの活動に取り組み始めたという話もあったかと思います。地域の歴史とコミセンの活動の歴史との関係で現在の活動が行われていることが分かるとよいと思います。

【委員】 若年層について、武蔵野市のむさしのジャンボリーの経験が大きいと思います。それを経験した人が協議会との関わりを求めた結果がこうなっていると思います。

② 本宿コミュニティ協議会

【事務局】 施設の利用状況をご覧ください。「利用回数ではロビー、ホール、学習室が他に比べて高かった」とあります。ロビーの利用率が高いというコミュニティセンターがあるため、そのあたりの工夫を聞けばそれぞれの工夫が見えるのではないのでしょうか。

また、課題としては人員不足で、「事業数の削減も視野に入れる必要がある」としながらも、自己評価の成果の2行目には「地域の団体や協力員、学生のお手伝いや参加の機会が増えている」と記載があることから、工夫をされている可能性がありますので、そのあたりを深掘りできればと考えております。

主な実施事業の最後に「子どもたちを対象に、成蹊大学マジシャンズクラブと連携して」とあることから、大学との連携が始まっている可能性もあります。

【副委員長】 コミセンは地域の核・拠点ですが、利用回数や利用人数は分かりますが、どのくらい地域の団体が使っているのかは、事前調書の調査項目から出てくるので非常に関心を持っています。どういう団体が使っているのかを各コミセンでお聞きしたい。

【委員長】 駅に近いところは、市民以外の利用者も多いと記憶しています。現状としてはどうなのでしょう。

【事務局】 市境のコミセンは、市外の方の利用は多いです。コミセンはどなたでも利用できますが、地域の人については予約の開始日を早めるなどの工夫をしています。

【副委員長】 吉西は演劇グループの利用回数が多いと思います。

【委員】 吉東では、1回目はどの団体も利用できますが、2回目以降の利用には利用者登録をしてもらっています。また市民への公平性を担保する観点で、各団体の代表者が市内に在住・通勤・通学する人としています。武蔵野市民を優先しています。いくつか同様の登録制を設けているコミセンがあるかと思います。

【委員長】 本宿も市外の方の利用が多いコミセンなのでしょう。

【事務局】 市外の方の利用が多いコミセンかと思います。

【委員長】 駅にも近く、施設も大きいのに利用者が減ってきているが、何か原因は認識しているのでしょうか。ロビーの利用が多いことに関して何か工夫があるかお聞きしたい。施設的には何かありますか。

【委員】 高圧線の鉄塔の真下に立地しています。ガラス張りで中が開放的に見えるようになっています。そのような建物の在り方が利用者に影響を与えているのか聞いてみたい

です。

【委員】 首都大学東京の学生が、各コミセンをまわって、アンケートとヒアリングをやって卒論にまとめています。どうして利用者が増えたかという点を丁寧に分析しています。その結果も参考にできるのではないかと思います。

【委員】 利用者数が減っているときに工事等が入っているかどうかは、確認したほうがよいと思います。

【委員】 設計には当時の吉東協議会が関わっています。運営委員が女性中心であり、協議会メンバーの人員不足は深刻なようにみえます。市からの情報が協議会の中でどのように伝達されているのかわからない部分があります。農地が公園になったところがあり、その説明会があるのですが、そういった情報がうまく伝達されていないようにも感じます。また、ロビーに展示物が充実している点がどのような効果を生み出しているのか見たいと思います。

【委員長】 自己評価で適正な管理・運営はAだが①～④がBであり、部外者の利用が多くて、その市外の人々の対応、施設の管理の対応でいっぱいになっているのではないかと感じます。協議会としての地域とのかかわり等について聞いてみたいと思います。

③ 吉祥寺南町コミュニティ協議会

【事務局】 施設の利用状況に「平成 30 年度の利用者数（総数）は 85,957 人」とあり、本日ご覧いただくコミュニティセンター中で最も利用者数が多くなっています。また、分野別の利用割合では「利用回数の割合はサロン、ホール、スタジオが他と比べて高かった」とあり、スタジオがあるのが特徴で、うまく使われていると思います。

主な実施事業には「南町ふれあい企画」「コミュニティ講座」とタイトルを付していることから、タイトルからイメージできるような工夫をしながら広報をしているのではないかと推察しました。また、その他、特徴的な事業の最後に「子育て・教育に関して、南町子育て隊を組織し」とあり、名前として面白いと感じました。

自己評価では、課題を他のコミュニティ協議会同様に人手不足としており、「一部の人に負担が集中している」とあります。利用者数が多いことが負担につながっているのではないかと感じました。

補足ですが、平成 29 年度の利用者数と利用回数が少なくなっているのは、空調給排水工事のために長期休館があったためです。また、全体で 3 番目に大きなコミュニティセンターです。

【委員長】 施設も大きく、表通りに面して、活動が活発だったところだと記憶しています。人手不足については、様々な活動をしていて人手が不足しているのではないかというイメージです。子どもに関する活動が盛んだったと記憶していますが、その後の状況についても把握したいところです。

【委員】 自己評価の「他のコミセンとの連携に課題がある」について、具体的にどのよ

うな状況でそう認識しているのかを聞きたいです。現在は、役員の方も変わって、違う取組になっているのかと思います。

【委員長】 大型館ということで、広い範囲でのイベントや活動の会場となったり、音頭を取ったりしていましたが、そのような中での課題認識ではないかと思います。協議会同士の連携にとどまらず、もう少し広い様々な地域団体との連携を行っているイメージです。

【委員】 東の方の協議会はネットワークが強固で、南町協議会は他の協議会、他の団体とつなげるという部分では強みを有しています。防災、文化祭など、いろいろな団体をつなげてやっています。

【委員】 地域防災については南町協議会から吉東協議会にも呼びかけがありました。「他のコミセンとの連携に課題がある」とされているならば、今年度役員が変わって違う取組がされていることに期待をしたいと思います。また、本宿協議会、吉祥寺東協議会、南町協議会で市議との懇談会を行っていました。南町協議会の円卓会議が発祥で、今年から工事のためお休みしていた南町協議会が参加され、3協議会での活動になりますので、また違う答えが返ってくると期待します。

【委員長】 手広くいろいろな活動を行ってきているので、自己評価が厳しくなっているという面もあると思います。

【委員】 東コミセンと南町コミセンは同じコミセンと呼んでよいのかというくらい、規模も違うし、入った時の雰囲気も違います。各コミセンで、地域で果たす役割は異なるのではないかと思うので、それぞれにあった評価が行えるとよいと思います。

④ 御殿山コミュニティ協議会

【事務局】 施設の利用状況では、平成30年度にエレベーター設置工事があったために利用が少なくなっています。また、分野別の利用割合では他と比べて高かったものとして、やはりロビーが挙げられており、他には読書室、レク室とあります。

比較的シンプルな活動をされているように感じるのですが、自己評価の成果に「運営委員・協力委員が助け合って活動することができた」とあるとおり、非常にまとまりのある運営をされている印象があります。

【委員】 運営委員・協力委員が助け合って活動できたという話の具体的なところをお聞きしたい。

【委員長】 協力委員とは、何か特徴はありますか。

【事務局】 窓口には出ないけれど、イベント等でお手伝いをする人が協力委員とされています。

【副委員長】 マンションが多いエリアです。(旧国鉄、横河電気寮の跡地など) マンションとの関係性の築き方についても聞きたいです。

【委員長】 マンションに入居する人に関して、初めはコミュニティ活動等を行いたくないためにマンションを選ぶのですが、居住も長くなってくるとコミュニティ活動に参加す

る人も増えてくると聞きました。現在の状況はどうでしょうか。

【委員】 老人クラブとの関係性が深いように見えますので、状況を聞いてみたいです。地域のいろいろな団体との関係性をうまく築いている協議会のように思います。

【委員長】 確かに自己点検・評価表の結果でも③の「コミュニティ活動のネットワーク」の評価もよいので、その秘訣をお聞きしたいです。施設的にはどうですか。

【委員】 施設に関しては工事中でまだあまり把握できていません。

【委員】 吉祥寺駅に近いということで、市外の人利用が多いと聞きましたが、現在の状況を聞きたいです。また、町内会とうまくいっている協議会だと思いますので、その辺りの工夫についてお聞きしたいです。

【委員】 とても地域の団体とうまくいっている協議会にみえます。老人会など地域の団体との連携があるのが特徴です。

⑤ 本町コミュニティセンター協議会

【事務局】 施設の利用状況をご覧ください。分野別利用割合には「第1会議室と和室が他と比べて高かった」とあり、サロンとロビーへの言及がありませんが、下の図表の利用人数グラフではサロンが34%と最も多くなっております。表記と統計とで数値の取り方にズレが生じている可能性があるためご留意願います。

主な実施事業には「わくわく本町サロン」とあり、何か新しいことにチャレンジする工夫をされているように見受けられます。

また、自己評価の成果の2点目にも「わくわく体操」などの新事業を立ち上げたと記載があり、面白い取り組みをされている点に注目しました。また、成果1点目には「特に、小中学校への呼びかけに力を入れた」とあり、3点目には「よりよい窓口業務ができるよう、『窓口会議』を実施」とあり、特徴的取組に感じました。

【委員長】 運営委員の代替わりはあるように記憶していましたが、そうではなくて、既存のメンバーが新しい事業を始めている協議会ということですね。メンバーが変わらない中でどのような工夫をしているのかをお聞きしたいです。

【委員】 吉祥寺駅に近いため、他のコミセンに比べ夜間の利用が多いのでその辺りの工夫をお聞きしたいですし、工夫をされていて、「適正な管理・運営」にAがついていないかと思えます。

【委員長】 本日のコミセンは駅に近いところが多く、そういったコミセンは共通して、自己点検・評価表では「適正な管理・運営」などの評価が高い特徴があるのではないのでしょうか。

【委員】 課題に挙げている、「街づくり協議会との連携が十分に取れていなかった」という話についても具体的なところを聞いてみたいです。環境浄化に力を入れている地域で、現在の取組状況をお聞きしたいです。日曜日に清掃活動をして街をきれいにするというのも特徴的な活動です。こういった重点的な活動については取り上げたいと思います。

【委員】 周辺環境と立地条件にも特徴があり、施設面積は中規模だが、ワンフロアの面積は狭いです。入ったところの空間の使い方が非常にうまく、その工夫は特徴的です。

【委員長】 環境浄化から始まった地域で、担い手は安定しており、一方で利用者は多様で、いろいろなバランスを取りながらやってきたところのように思います。これまで見てきたように、施設によっても、成り立ちによっても異なり、コミュニティは簡単に比べられない特徴があり、その特徴のどういうところをとりあげて評価をつけていくかが大事だと思います。これと同じ作業を第三回に行います。

【事務局】 ご意見ありがとうございました。本日のご意見をもとに、無作為抽出市民調査、事前調書をまとめた上で、6月中旬頃に調査の配布が出来ればと考えています。次回の委員会は6月27日（木）午後7時から芸能劇場小ホールで予定しています。

【副委員長】 各コミュニティ協議会に対して、評価委委員会の進め方について説明をしたほうがよいのではないのでしょうか。私も前回の評価委員会のことは分かりませんし、現場の委員長がスケジュールを分かっていることに不安があります。現場の人の協力を得られるよう、今後の定例会もしくは代表者会議で話し合いの場を持ったほうがよいと思います。

【委員】 コミュニティ研究連絡会では、昨年度、コミュニティ評価委員会の立ち上げにあたり、委員を検討する中で当時のコミュニティ研究連絡会の会長・副会長が選出されたので、経過は承知しております。各コミュニティ協議会の代表もある程度は承知していると思います。ただ、その後の進捗状況やこれからのことについては説明が必要かもしれません。コミュニティ研究連絡会会長を通じての説明か、あるいは来月のコミュニティ研究連絡会の会議の際に、事務局作成の文書をご提示いただくのがよいと思います。

【副委員長】 スケジュール案は示したほうがよいと思います。

【委員長】 調査項目の説明時にスケジュール案など、流れを確認していただくほうがよいでしょう。委員の皆様には、次回委員会において、本日後半と同様の作業を残り11協議会についても行っていただきますようお願いいたします。

当日、質問項目を見てすぐに思い出せるように、本日も議論いただいた各コミュニティ協議会への個別質問などを整理しご提示いただけるとありがたいと思います。

以上